



2026年7月8日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
12,285万kW
14時、122,847 MW (10
エリア同時刻合計)

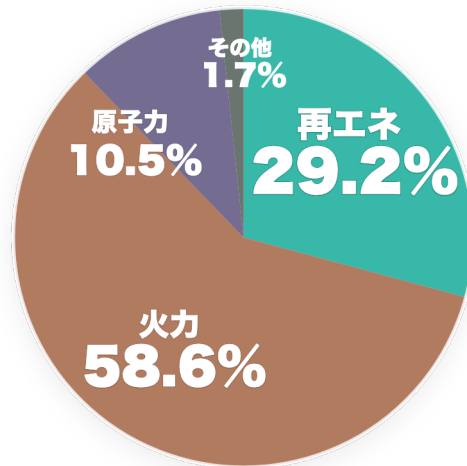
☀ 太陽光ピーク
4,429万kW
11時30分、44,291
MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク
94万kW
1時、938 MW

◇ 再エネ最大需要
比
48.4%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
87.5 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
57.2 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 45.4%
34.9 GWh

出力抑制量

0.9 GWh
最大: 東北 0.9 GWh

揚水・蓄電の充電

18.3 GWh
発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:00に3,857万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで45.4%でした。
- 出力抑制は東北、中部。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	29.2%	発電電力量ベース
再エネ発電量	713 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,444 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	48.4%	12時
出力抑制量	0.9 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	18.3 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	45.4%	34.9	0.0	送電 3.2
東北	37.3%	101	0.9	送電 57.2
東京	22.0%	149	0.0	受電 87.5
中部	35.9%	117	0.0	受電 45.7
北陸	38.0%	32.6	0.0	送電 4.9
関西	21.7%	78.7	0.0	受電 39.5
中国	28.6%	53.8	0.0	送電 18.4
四国	29.6%	36.8	0.0	送電 49.4
九州	35.6%	105	0.0	送電 18.7
沖縄	12.0%	3.8	0.0	—



2026年7月8日の供給実績

北海道エリア

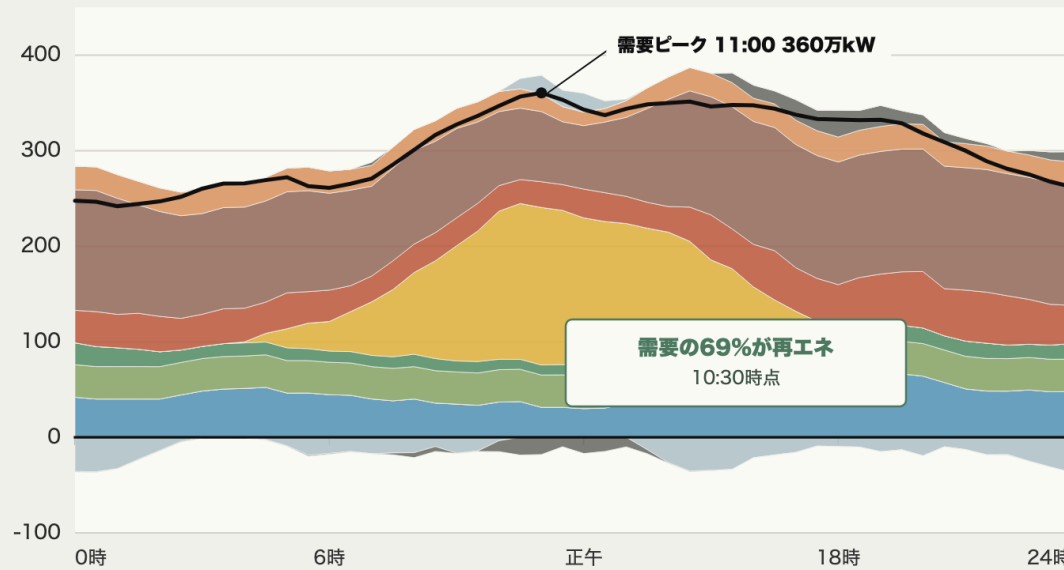
再エネ

35.0GWh

(発電電力量ベース45.4%)

北海道エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)

万kW



発電構成比

総発電電力量: 77GWh

(769万kWh)

再エネ	34.9GWh (45.4%)
太陽光	12.2GWh (15.8%)
水力	11.5GWh (14.9%)
風力	3.2GWh (4.1%)
バイオマス	8.1GWh (10.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	9.1GWh (11.8%)
石炭火力	26.3GWh (34.1%)
石油等火力	5.6GWh (7.2%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.1GWh (1.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

77.0GWh

需要ピーク

11:00、360万kW

連系線・その他

3.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク165万kW、風力ピーク23万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.6%だった。



2026年7月8日の供給実績

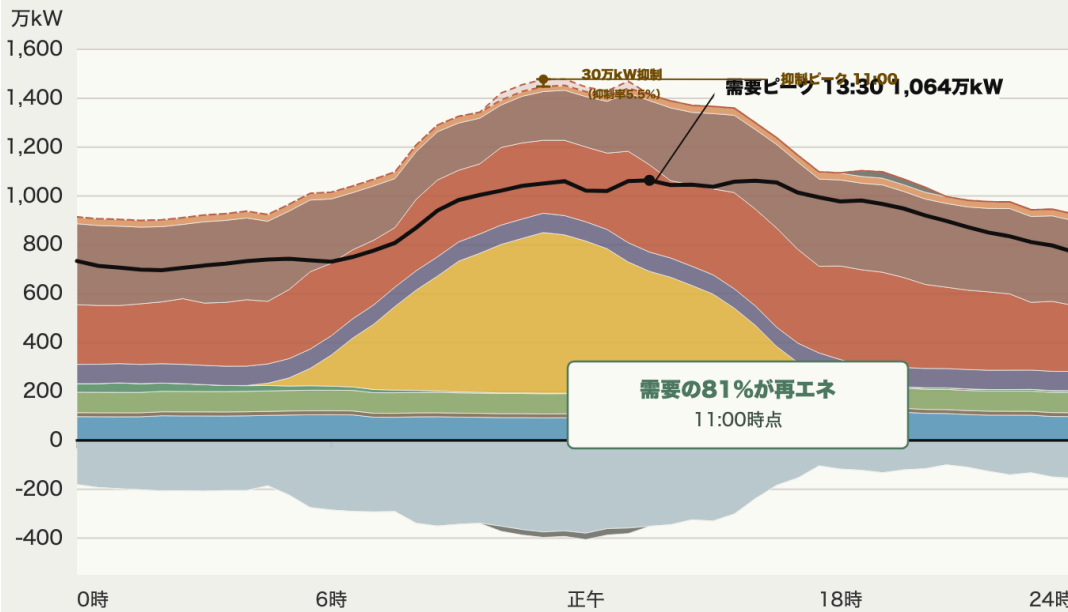
東北エリア

再エネ

101.3GWh

(発電電力量ベース37.3%)

東北エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 272GWh
(2,719万kWh)

再エネ	101.3GWh (37.3%)
太陽光	50.3GWh (18.5%)
水力	24.5GWh (9.0%)
風力	2.8GWh (1.0%)
バイオマス	19.9GWh (7.3%)
地熱	3.9GWh (1.4%)
LNG火力	74.6GWh (27.4%)
石炭火力	70.1GWh (25.8%)
石油等火力	6.3GWh (2.3%)
原子力	19.0GWh (7.0%)
揚水・蓄電	0.5GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量 0.9GWh

■ 火力 0.9GWh
本家発電可能量の0.6%
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

271.9GWh

需要ピーク

13:30、1,064万kW

連系線・その他

57.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.8GWh

出力抑制

0.9GWh

概況

東北は、太陽光ピーク657万kW、風力ピーク39万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.9%だった。



2026年7月8日の供給実績

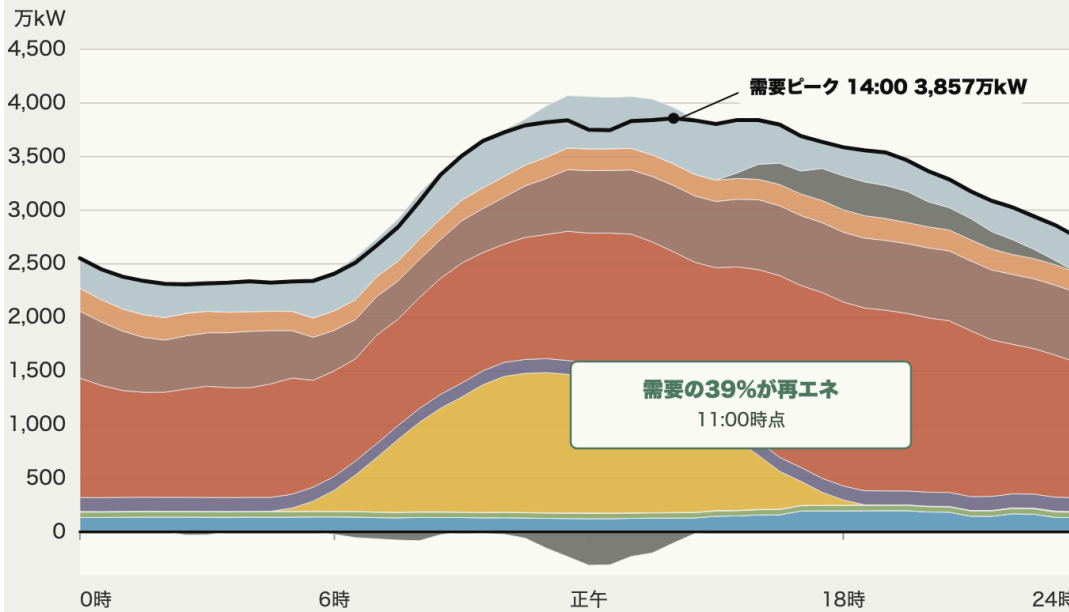
東京エリア

再エネ

149.4GWh

(発電電力量ベース22.0%)

東京エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 681GWh
(6,806万kWh)

再エネ	149.4GWh (22.0%)
太陽光	101.2GWh (14.9%)
水力	35.4GWh (5.2%)
風力	1.1GWh (0.2%)
バイオマス	11.7GWh (1.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	304.8GWh (44.8%)
石炭火力	132.1GWh (19.4%)
石油等火力	47.1GWh (6.9%)
原子力	31.2GWh (4.6%)
揚水・蓄電	16.0GWh (2.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

680.6GWh

需要ピーク

14:00、3,857万kW

連系線・その他

87.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

10.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,307万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.0%だった。



2026年7月8日の供給実績

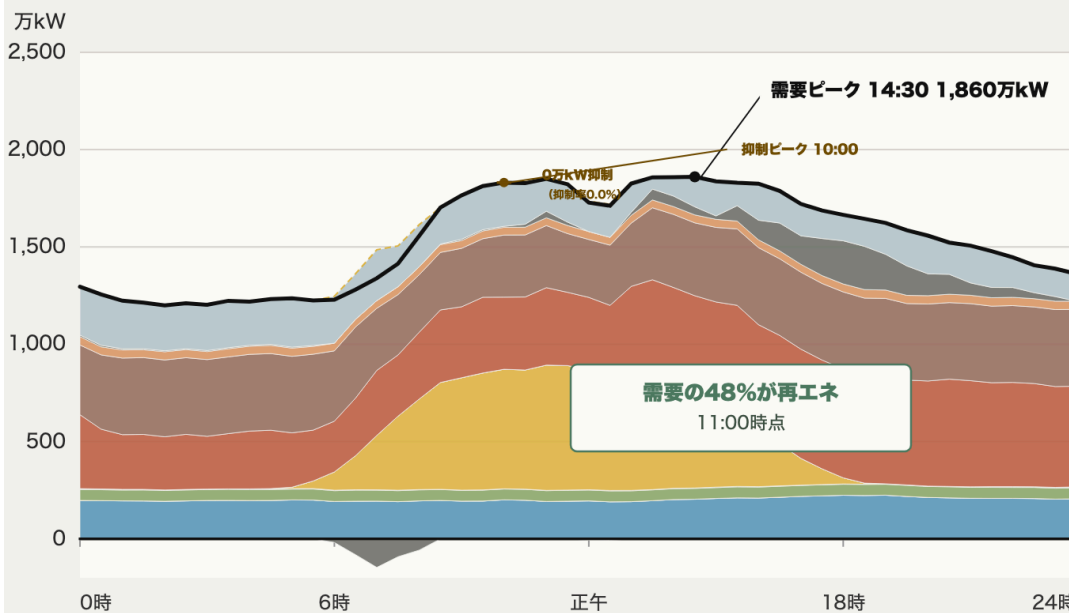
中部エリア

再エネ

116.9GWh

(発電電力量ベース35.9%)

中部エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 326GWh
(3,258万kWh)

再エネ	116.9GWh (35.9%)
太陽光	54.2GWh (16.6%)
水力	48.6GWh (14.9%)
風力	0.6GWh (0.2%)
バイオマス	13.5GWh (4.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	99.8GWh (30.6%)
石炭火力	88.1GWh (27.1%)
石油等火力	9.9GWh (3.0%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	11.1GWh (3.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量 0.0GWh

抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

325.8GWh

需要ピーク

14:30、1,860万kW

連系線・その他

45.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

2.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク644万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.4%だった。



2026年7月8日の供給実績

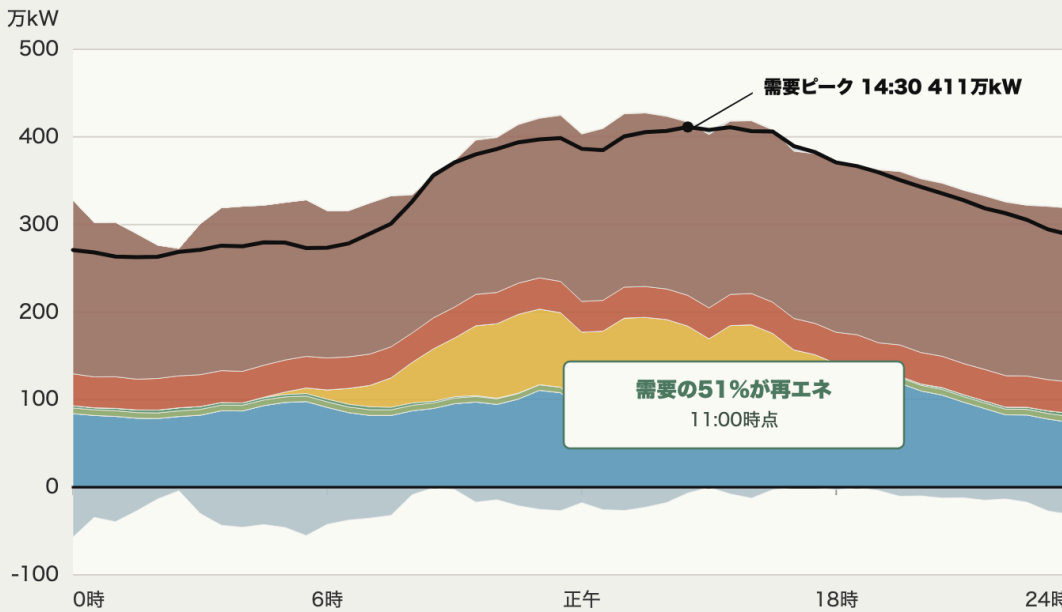
北陸エリア

再エネ

32.6GWh

(発電電力量ベース38.0%)

北陸エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 86GWh

(858万kWh)

再エネ	32.6GWh (38.0%)
太陽光	7.3GWh (8.5%)
水力	23.4GWh (27.3%)
風力	0.4GWh (0.5%)
バイオマス	1.5GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.6GWh (10.0%)
石炭火力	44.5GWh (51.8%)
石油等火力	0.1GWh (0.2%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.0GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
—	需要

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

85.8GWh

需要ピーク

14:30、411万kW

連系線・その他

5.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク90万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.2%だった。



2026年7月8日の供給実績

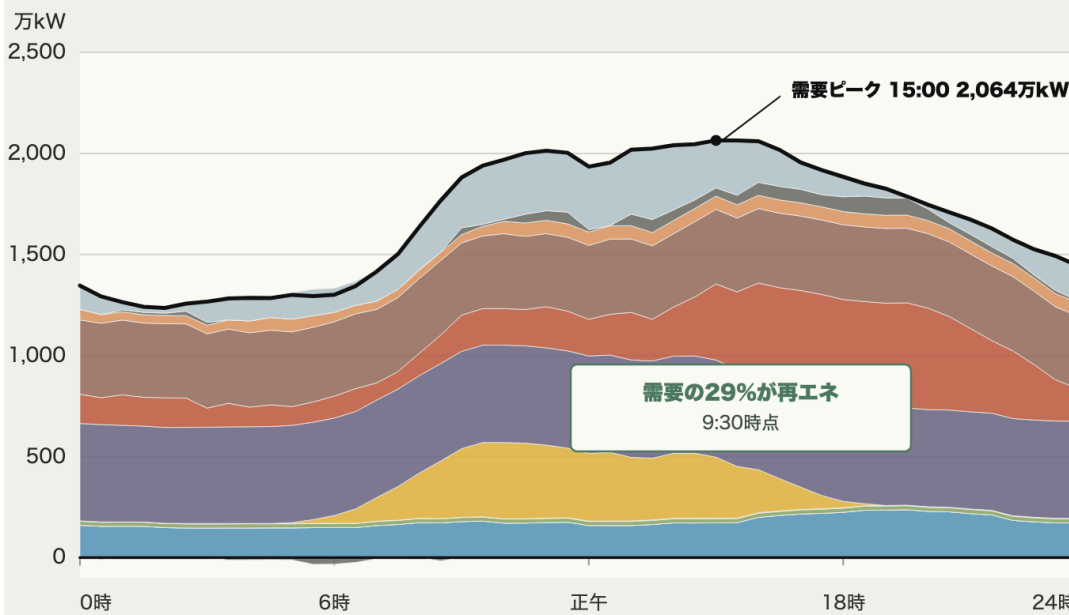
関西エリア

再エネ

78.7GWh

(発電電力量ベース21.7%)

関西エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 363GWh
(3,632万kWh)

再エネ	78.7GWh (21.7%)
太陽光	30.9GWh (8.5%)
水力	42.5GWh (11.7%)
風力	0.5GWh (0.1%)
バイオマス	4.8GWh (1.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	60.3GWh (16.6%)
石炭火力	88.1GWh (24.2%)
石油等火力	13.8GWh (3.8%)
原子力	115.3GWh (31.8%)
揚水・蓄電	7.0GWh (1.9%)
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

以下は発電構成に含まれない

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

363.2GWh

需要ピーク

15:00、2,064万kW

連系線・その他

39.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク378万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.4%だった。



2026年7月8日の供給実績

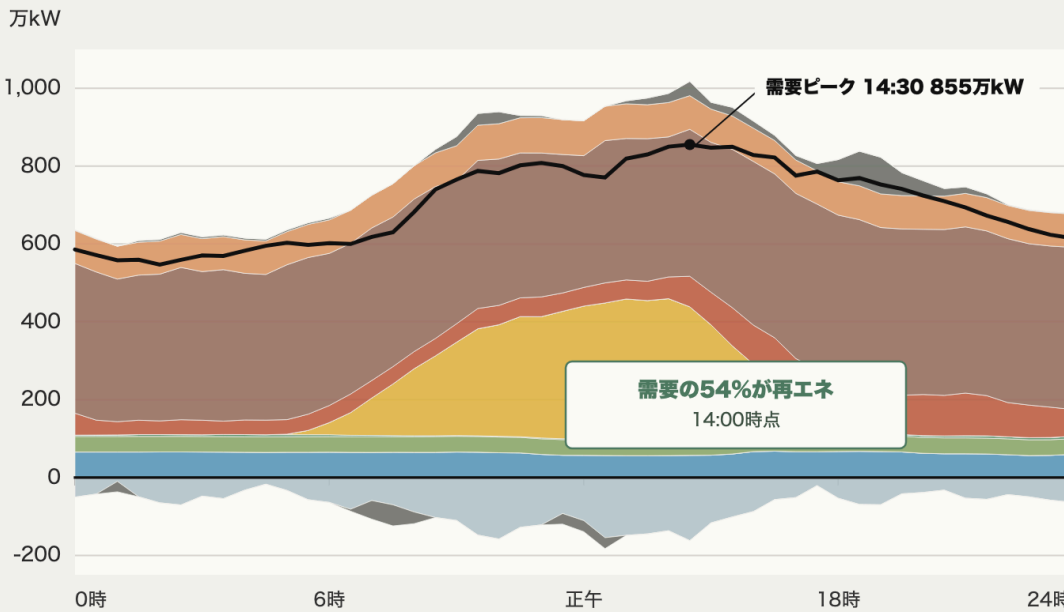
中国エリア

再エネ

53.8GWh

(発電電力量ベース28.6%)

中国エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 188GWh
(1,881万kWh)

再エネ	53.8GWh (28.6%)
太陽光	28.3GWh (15.0%)
水力	15.1GWh (8.0%)
風力	0.8GWh (0.4%)
バイオマス	9.7GWh (5.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	15.4GWh (8.2%)
石炭火力	94.4GWh (50.2%)
石油等火力	20.7GWh (11.0%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	3.6GWh (1.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

188.1GWh

需要ピーク

14:30、855万kW

連系線・その他

18.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク362万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.2%だった。



2026年7月8日の供給実績

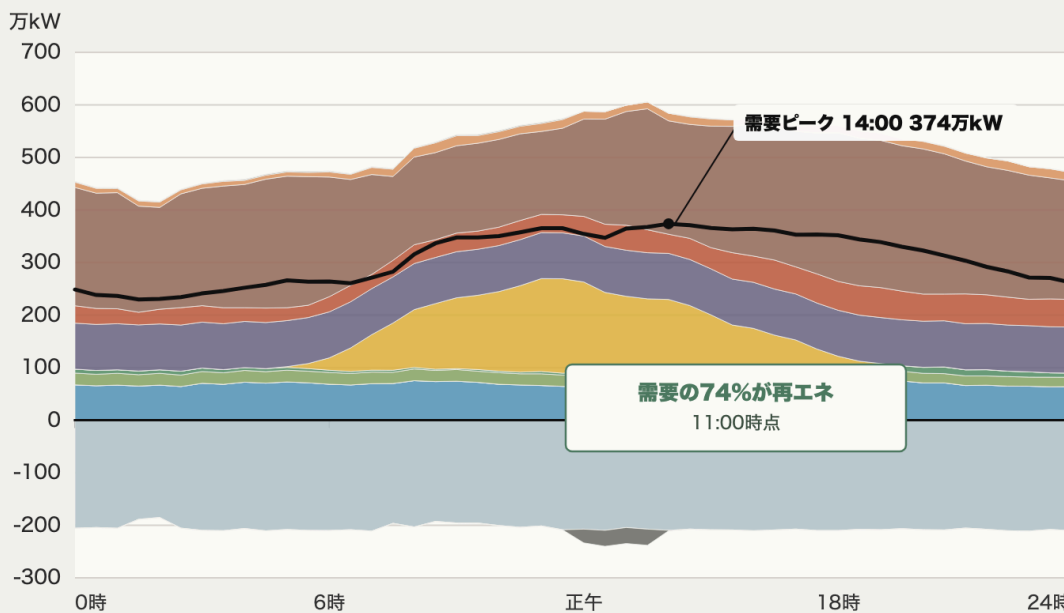
四国エリア

再エネ

36.8GWh

(発電電力量ベース29.6%)

四国エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 124GWh
(1,241万kWh)

再エネ	36.8GWh (29.6%)
太陽光	13.7GWh (11.0%)
水力	16.5GWh (13.3%)
風力	1.5GWh (1.2%)
バイオマス	5.1GWh (4.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	9.7GWh (7.8%)
石炭火力	53.3GWh (43.0%)
石油等火力	3.1GWh (2.5%)
原子力	21.0GWh (16.9%)
揚水・蓄電	0.2GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
—	需要

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

124.1GWh

需要ピーク

14:00、374万kW

連系線・その他

49.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク180万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は74.2%だった。

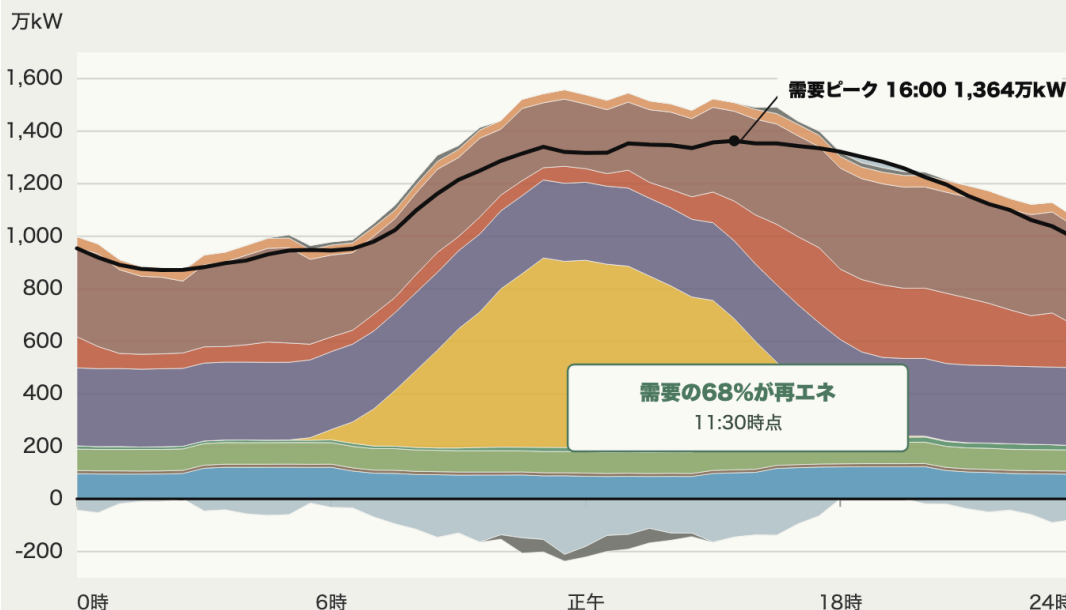


2026年7月8日の供給実績

九州エリア

再エネ
105.2GWh
(発電電力量ベース35.6%)

九州エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
295.8GWh

需要ピーク
16:00、1,364万kW

連系線・その他
19.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク721万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は69.0%だった。



2026年7月8日の供給実績

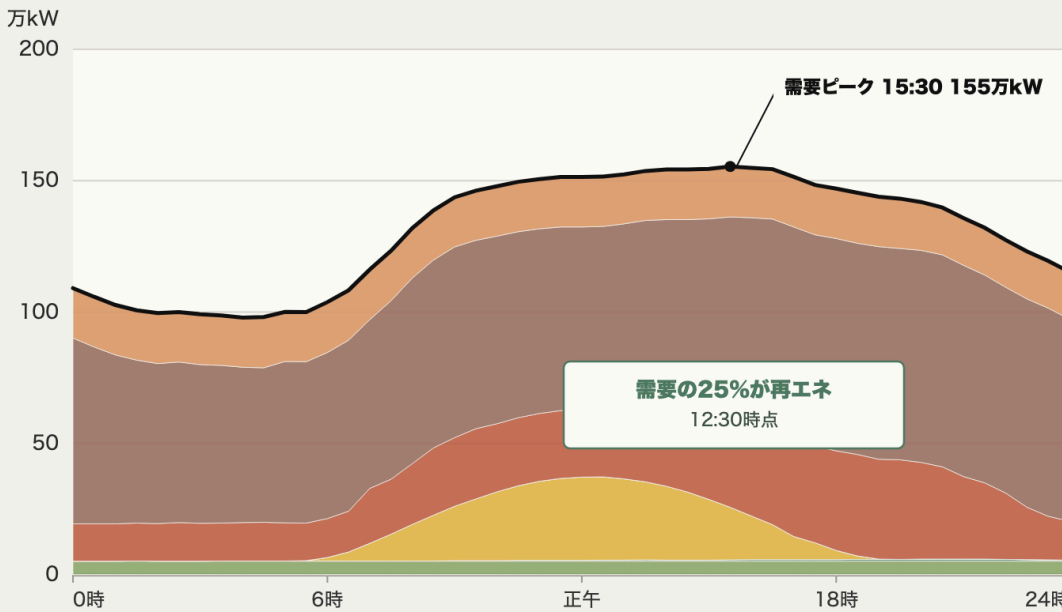
沖縄エリア

再エネ

3.8GWh

(発電電力量ベース12.0%)

沖縄エリア 2026年7月8日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

31.4GWh

需要ピーク

15:30、155万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク32万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.6%だった。